

- 系 統 2液型エポキシ樹脂系コンクリート
- 特 長 1) セメントコンクリートに比べて、物理的強度、化学的性能、耐久性に優れる。  
2) コンクリートへの接着性や耐薬品性に優れている。

- 用 途 1) 橋梁伸縮装置の端部補強用樹脂コンクリート

## 配 合 比

	結合材	骨材			合計
	# 5 0 5	接着剤用 珪砂4号	接着剤用 珪砂7号	乾燥粗骨材 # 5 1 0	
配合比(重量比)	1	1.5	1.5	5	9
1 m <sup>3</sup> 当たりの 標準使用量(kg)	240	360	360	1200	2160

- 荷 姿 1) # 5 0 5... 1.0 kg セット (主剤+硬化剤)  
2) 接着剤用珪砂4号... 2.5 kg / 袋  
3) 接着剤用珪砂7号... 2.5 kg / 袋  
4) 接着剤用乾燥粗骨材 # 5 1 0... 3.0 kg / 袋

## 可 使 時 間 # 5 0 5 の可使時間

結合材のタイプ	冬 用 (W)		夏 用 (S)	
温 度 [ ]	5	15	20	30
可使時間 [分]	60	30	40	20

- 比 重 2.15 ± 0.10 (硬化物)

- 使 用 方 法 1) # 5 0 5 をセット単位または主剤、硬化剤を配合比にしたがって計量して使用する。  
2) 主剤と硬化剤を、均一になるまで混合攪拌する。  
3) 骨材を所定の配合で、パン型ミキサー等で混合攪拌する。  
4) 混合した骨材に、攪拌しながら # 5 0 5 を加え、均一になるまで攪拌する。  
5) コンクリート敷設面にプライマーとして # 5 0 5 を塗布する。  
6) プライマーの硬化前に、コンクリートを転圧しながら、所定の厚さに仕上げる。

- 使用上の注意 1) 接着面の表面処理を十分に行う。(レイタンス、汚れ、水分の除去)  
2) 低温時には、# 5 0 5 の主剤や骨材をジェットヒーター等により加温すれば、混合が容易になり、養生時間も短縮することが可能となる。

<b>△ 注 意</b>
--------------

- |   |
|---|
| 1. 健康上、注意を要する物質を含有しています。<br>2. 皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。<br>3. 取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。<br>4. 詳細についてはショーボンド # 5 0 5 の製品安全データシート(MSDS)を参照してください。 |
|---|